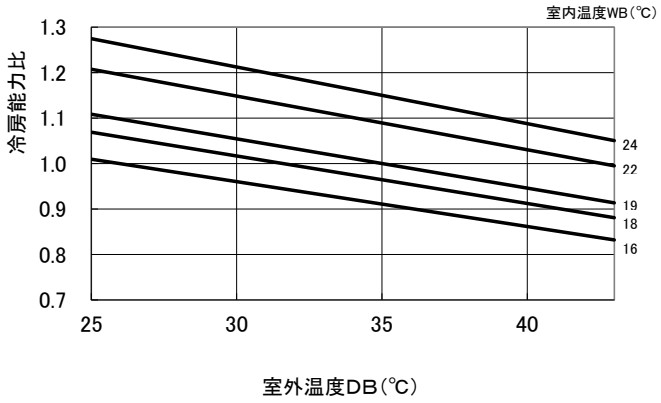
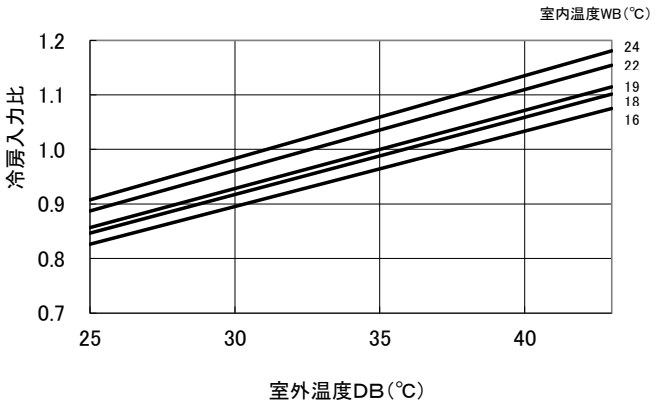
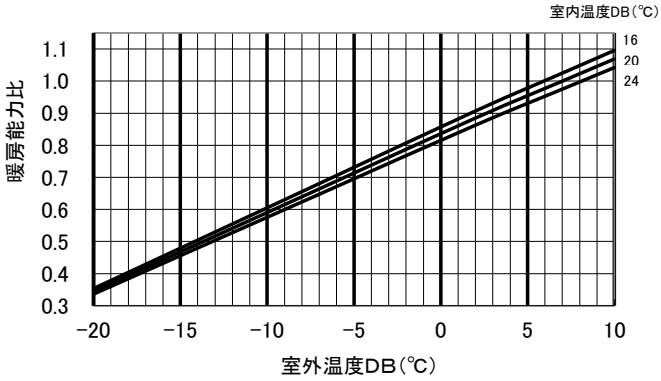
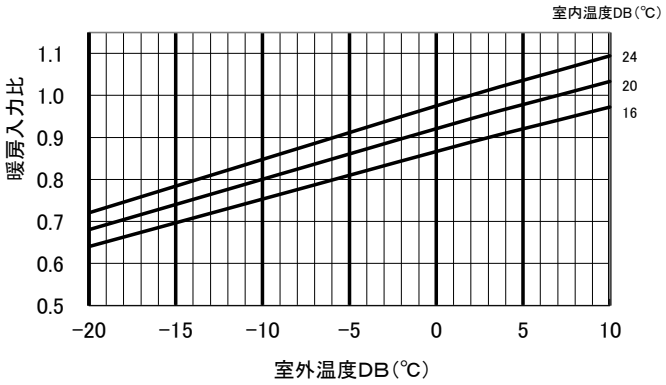
【冷房】
外気温度変化時の能力・入力変化特性





【暖房】
外気温度変化時の能力・入力変化特性





注)・本表の暖房能力特性は着霜時(除霜運転を含む)の
能力低下を含みません。

＜本特性表による補正能力・入力の求め方＞

①補正後の能力(kW) ＝ 冷・暖房能力(kW) × 空気条件ごとの能力比補正

(ご注意)
冷・暖房能力は、仕様書にて組合せ室内ユニットごとの「定格能力」または「最大能力」を確認し、計算してください。
配管長による補正は、『配管長さと冷暖房能力変化率』表を用い、別途補正を実施してください。

②補正後の入力(kW) ＝ 定格入力(kW) × 空気条件ごとの入力比補正

(ご注意)
入力(消費電力)は、仕様書にて組合せ室内ユニットごとの「冷・暖房定格消費電力」を確認し、計算してください。

適用機種		図面番号	TDT26H1936
R0A-RP803HSJ(Z・ZG)		東芝パッケージエアコン 能力・入力変化特性	
R0A-RP803HS(Z・ZG)			
		適用機種は左記	
		東芝キヤリア株式会社	